

JCHO可児とうのう病院の「いま」を伝える

2014.12  
HATOBUKI  
Vol.9

# はとぶき

特集

麻酔科・ペインクリニック内科

痛みを抑えるには、体と心をケア

はとぶきホットライン VOL.8

市民公開講座、防災訓練、糖尿病教室  
さまざまなイベントで地域医療に貢献

地域医療機関と可児とうのう病院を結ぶ懸け橋

医療連携室だより VOL.9

桜ヶ丘クリニック／かたびら眼科

**特集**



麻酔科診療部長の洪淳憲先生に話を聞いた。

「痛みって何?」というところから、現在の取り組み「ハイブリッド麻酔科」について  
痛みに特化し、苦痛を取り除くために生まれたのがペインクリニックである。

近年、痛みの研究が進み、そのメカニズムが徐々に解明されてきた。  
痛みを伝える「痛み」。

体の異常を伝える「痛み」。

麻酔科・ペインクリニック内科

痛みを抑えるには、体と心をケア

麻酔科診療部長 洪淳憲 先生

## イベントニュース

### 限定 半日ドックのご案内

実施期間 平成27年1月15日～3月31日

対象：半日ドック料金を全額個人でお支払いの方のみ

限定  
料金

#### ★新規の方

※過去5年間に半日ドックを受診していない方

21,000円(税込)

#### ★上記以外の方

※男性にはPSA検査、  
女性には骨密度検査を無料でお付けいたします

27,000円(税込)



体の状態をくまなく診断できるよう、設備が充実しています



自分の健康状態を把握することが、健康づくりの第一歩です

#### 限定 半日ドックに追加可能 お値打ち価格のオプション

血圧脈波 2,160円→ 1,500円(税込)

睡眠時無呼吸検査  
2,160円→ 1,500円(税込)

甲状腺検査 6,160円→ 5,000円(税込)

胸部 CT 11,830円→ 7,000円(税込)

脳ドック 38,880円→ 33,000円(税込)

上記キャンペーンメニュー以外の  
健診コースもございます。  
お気軽にお問い合わせください。

#### Premiumレディースドック

平成27年3月2日(月)限定

35名様  
限定

検査料金 33,000円(税込)  
※特定健診の受診券がある方は、  
検査料金がさらにお得になります。  
予約時に申し出ください。

#### 検査項目

- ① 子宮頸がん検査
- ② 乳がん検査
- ③ 骨密度検査
- ④ CA125(血液検査)
- ⑤ 塩分検査(尿)
- ⑥ 内臓脂肪面積測定  
(マンモグラフィ2方向  
or 乳房超音波検査)
- ⑦ 栄養指導(希望者)  
or 結果説明
- ⑧ ランチ券
- ⑨ ささやかなプレゼント

※上記限定健康診断は定員となり次第、予約を締め切らせていただきますので、ご了承ください。  
※他の健康診断と併用できません。

お申し込み・お問合せ先

可児とうのう病院健康管理センター(予約係) 予約受付時間／平日のみ 13:00～17:00

TEL 0574-25-3115 (内線395-396)

## 痛みは感情から ふたつの神経伝達路

「痛みはどこから生まれるか知つてありますか」と話すのは、麻酔科診療部長の洪淳憲先生。怪我や病気など、体の異常を訴えるための神経の働きであるため、当然痛みは患部であるはず。しかし、洪先生が答えたのは「脳です。痛みだけでなく、感情も含まれるんですよ」だった。

「痛み」という分野は現在でも未知の領域が少なくない。しかし、脳科学の発達によって、そのメカニズムがかなり解き明かされつつある。痛みには大きく分けてふたつの伝達路がある。感覚的痛覚伝導路と情動的痛覚伝導路だ。前者は痛覚・温度覚、後者は触覚のほか、自律神経を兼ねる。これらの感覚がそれぞれ

法など特殊な治療も行われる。

「当院は今年4月、JCIH〇可児とうのう病院として、新たなスタートを切りました。そこで、麻酔科・ペインクリニック内科でも新しい動きとして『ハイブリッド麻酔科』というものを作り出そうと動き出しています」。

「ハイブリッド」の定義は、「ふたつの要素を組み合わせてつくられたひとつもの」。洪先生は、従来の療法だけではなく、総合的に患者を痛みから解放したいと考えている。

### 痛みの感情をコントロール

「ハイブリッド麻酔科」での治療は、麻酔薬や鎮痛薬などの投薬以外にふたつある。ひとつは「運動などの生活習慣の改善」、そしてもうひ

れの速度で脳に体の異常を伝える。脳に行き届いて初めて、「痛い」という感情が生まれるのだ。

### 新たなペインクリニック 「ハイブリッド麻酔科」

手術中や術後、または慢性的な痛みに対する専門家が麻酔科医だ。

手術の際、痛みを消すために麻酔をかける。局所麻酔の場合、末梢神経を麻痺させ、脳に痛みの信号を届かなくすることが目的である。また、ペインクリニック内科は痛みに特化した診療科。麻酔科医によって鎮痛剤の服用や神経ブロック療法のほか、必要によって脊髄刺激電極

手術に必要不可欠な麻酔。  
さまざまな診療科と連携しながら、  
患者にとってより良い医療を目指している



る脳の機能を低下させる。イライラ

したり、疲れなくなったりとさまざま

な精神・神経疾患を招くといふ。「投薬も行いますが、健全な精神と肉体をつくつてもらうことが大切。リハビリテーションによって、痛みで弱くなつた筋力を増強し、プラス思考になつてもらえるように認知

行動療法で心をケアする。合わせて行うことで痛みをなくし、感じにくくさせるのが『ハイブリッド麻酔科』です。」

地域の人々により良い医療で貢

献するために、患者に合わせて体と心にやさしい治療を行う。「実績を重ねて情報を発信していきます。ぜひ皆さんも応援してください。」志を

新たに再スタートした麻酔科・ペインクリニック内科に期待したい。

# はとぶきホットライン VOL. 8

## 市民公開講座、防災訓練、糖尿病教室 さまざまなイベントで地域医療に貢献

可児とうのう病院は、病院理念の一つ「地域に密着した医療」に基づき、様々なイベントを開催しております。今回は、今秋行わされました市民公開講座、防災訓練、公開糖尿病教室についてお伝えします。

### 医療を身边に感じるイベント 13回目を迎えた市民公開講座



9月27日、可児市文化創造センターalaで、市民公開講座を開催しました。13回目となる今年は、麻酔科・ペインクリニック内科の専門医である洪淳憲先生が講演。「痛みってなに?」をテーマにした内容は、先生の軽快な語り口と、わかりやすい内容で好評でした。

さらに、当日は「まちの保健室」も開催。血管年齢測定や体組成測定、血圧測定、健康診断を行い、参加した市民が医療と、自身の健康に目を向ける良い機会になりました。

市民公開講座は、毎年テーマを変えて開催しています。

また、今秋はほかに防災訓練や糖尿病教室も行い、市民が安心できる地域医療を目指した取り組みを続けています。ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。



「まちの保健室」は今年も希望者が多く、整理券配布開始早々に定員に達しました。市民公開講座を後援する岐阜県看護協会が実施しているもので、年に数回、複数の場所で開催されています

### 地域の人々と協力して行う 大きな災害への備え

11月8日、大規模災害を想定した防災訓練を実施しました。可児とうのう病院のほか、地域のボランティアやKYB株式会社の自衛消防隊、可茂消防本部が協力。傷病者の重症度や緊急度を考慮して、救出・治療・搬送の優先順位を決める「トリアージ」を訓練しました。

また、災害時に利用可能な地下水の利用訓練や消化器、消火栓からの放水による消火訓練を実施。今年からは初めてはしご車を使った避難訓練も行い、いざという時のために有意義な訓練となりました。



### 全国糖尿病週間にあわせて 公開教室を開催

11月14日は世界保健機関と国際糖尿病連合が制定した世界糖尿病デーです。日本でも11月10日から16まで糖尿病週間とし、全国各地でイベントが開催されました。

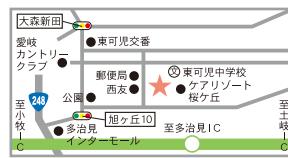


可児とうのう病院でも全国糖尿病週間にあわせて、10日から14日までイベントを開催。

ボスター展示や血糖測定、栄養相談、栄養クイズを行いました。また、最終日には公開糖尿病教室を開催。医師、認定看護師、管理栄養士を講師に、糖尿病食を食しながらのランチセミナーが好評を博しました。



平成22年に開業した桜ヶ丘クリニック。  
介護施設なども隣接しています



### 桜ヶ丘クリニック

住所 可児市桜ヶ丘6-73-8 P有  
電話 0574-64-4588

診療科目 内科 小児科  
リウマチ科(膠原病全般)

休診日 火曜日・土曜日午後・日曜日午後・祝日

曜日	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	/	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	/	○	○	○	/	/



「休みの日であっても、困った時に頼れる存在でありたい」。そう浅野純一郎院長は優しげな笑顔を浮かべました。専門は臓器に炎症が起ころうではなく、すべての症状を診る。膠原病。専門医が少ない病です。内科だけではなく、専門は臓器に炎症が起ころうではなく、すべての症状を診る。浅野院長は頼つてきた患者を受け入れられるように、幅広く知識と経験を積んできました。優しい雰囲気と話し方で、今日も病で弱った患者の不安を和らげています。



医師・スタッフは100%女性。  
あたたかな笑顔で患者を迎えます



### かたびら眼科

住所 可児市東帷子3877 P有  
電話 0574-69-1001

診療科目 眼科

休診日 木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:30	○	○	○	/	○	○	/	
15:30~18:30	○	○	○	/	○	/	/	



「休みの日であっても、困った時に頼れる存在でありたい」。そう浅野純一郎院長は優しげな笑顔を浮かべました。専門は臓器に炎症が起ころうではなく、すべての症状を診る。浅野院長は頼つてきた患者を受け入れられるように、幅広く知識と経験を積んできました。優しい雰囲気と話し方で、今日も病で弱った患者の不安を和らげています。

近年、健康診断で緑内障や白内障が見つかることが増えています。「40歳を過ぎたら、緑内障の検査を。糖尿病を患った時も、眼科を受診してください」と訴えるのは永井美保子院長。目の病気は自覚症状がないため、知らないうちに進行してしまうことがあります。永井院長のモットーは「全身を診ること」。体全体の状態を尋ねながら、目に関連する診察・治療を行っています。

今号は、ともに地域に根付き、皆さんの健康を見守ってきた「桜ヶ丘クリニック」と「かたびら眼科」を紹介します。

地域医療機関と  
可児とうのう病院を結ぶ懸け橋

## 医療連携室だより

VOL.9

# ■ 外来診療担当表 平成26年12月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内 科	初 診	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制
	2 診 (消化器)	渡邊 久倫	清水 達治	印藤 敏彦	清水 達治	印藤 敏彦
					9 症 渡邊 久倫	
	3 診	足立 史郎	岩田 敬和	山田 清康	山田 清康	河村 吉宏
	4 診 (循環器)	横内 一彦	山田 清康	林 尋之	森田 純生	横内 一彦
			林 尋之 13:00~			
	5 診 (呼吸器)		各務 智彦		伊藤 亮太	
	6 診 (神経内科)	土方 靖浩	今井 和憲		小池 春樹	横井 聰
	7 診 (血液)	吉田 均	伊藤 貴彦	吉田 均	西山 誉大	
					浅野 靖之 13:30~	
	8 診 (糖尿病・内分泌)	池庭 誠	石黒 俊明	石黒 俊明		高槻 健介
	専門外来(予約制)				柏谷 志郎 13:00~	
外 科	1 診	瀬古 浩	太田 俊介	瀬古 浩	太田 俊介	児玉 章朗 (血管外科)
	2 診	池山 隆	大森 健治	大森 健治	池山 隆	乳腺外来 10:00~12:00
	3 診	西村 廣大	岸田 喜彦	西村 廣大	山谷 千尋 (呼吸器外科)	岸田 喜彦
	形成外科(予約制)		高成 啓介 2~4週 14:00~			
	小児外科(予約制)		岸田 喜彦 14:00~			
整形外科	1 診	高松 晃	小早川 知範	渡部 達生	北村 曜子	杉浦 洋
	2 診	中野 健二			中野 健二	
	3 診	小林 和克 (脊椎)	岩月 克之 (手外科)	幸島 寛	吉岡 裕 (リウマチ)	幸島 寛
泌尿器科	1 診	青木 重之	山田 芳彰	青木 重之	原 浩司	山田 芳彰
	2 診	小林 郁生	原 浩司	全並 賢二		
小児科	1 診	金山 恵子	月館 幸一	月館 幸一	月館 幸一	金山 恵子
	2 診	月館 幸一				月館 幸一
	専門外来(午後 予約制)	月館 幸一 (慢性疾患)	横井 摂理 2~4週 (神経)	長谷川 誠一 1週 (小児循環器)	月館 幸一 (慢性疾患)	
				月館 幸一 (予防接種)		
耳鼻咽喉科	1 診	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳
	2 診	櫻井 一生			田邊 陽介	
婦人科	1 診	片山 宣	津田 弘之	眞鍋 てるみ	中原 辰夫	片山 宣
皮膚科	1 診					稻葉 由季 9:00~11:30(完全予約制)
脳神経外科	1 診		百田 洋之			
眼科	1 診		清水 裕司	清水 裕司	土井 浩史	清水 裕司
内視鏡(カメラ)	内視鏡室	清水 達治 印藤 敏彦	印藤 敏彦 渡邊 久倫	清水 達治 久倫	印藤 敏彦	渡邊 久倫

□ 外来受付時間 ●初診 8:30~11:30 ●再診 8:30~12:00 ○休診日 土・日・祝日・年末年始